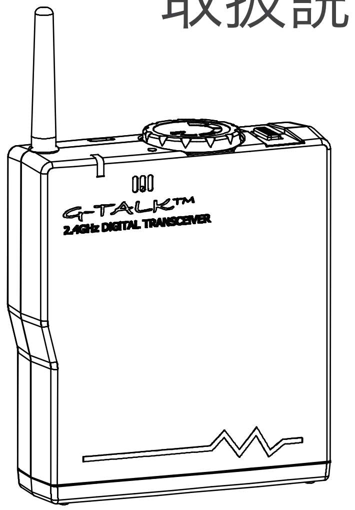
【 KT202574A 】

2.4GHz DIGITAL TRANSCEIVER

G-TALK™

取扱説明書



このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品は2.4GHz帯の小電力無線機であり、免許不要でどなたでも簡単にご使用いただける様に設計されたトランシーバーです。本製品を安全にご利用いただく為に、この取扱説明書をお読み下さい。また、お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管して下さい。

RoHS

1. 安全上の注意（必ずお守り下さい）

安全の為に必ずお守り下さい

■ご使用の前に、この「安全の為に必ずお守り下さい」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止する為の内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

●表示と意味は次の様になっています。

⚠ **危険**	誤った取扱いをした時に、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されるもの。
⚠ **警告**	誤った取扱いをした時に、死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ **注意**	誤った取扱いをした時に、障害を負う可能性が想定されるもの、及び物的損害のみの発生が想定されるもの。

●本文中に使われる”図記号”の意味は次の通りです。

⊘	絶対に行わないで下さい。
(!)	必ず指示に従い、実施して下さい。

2. 製品の取扱いについて

⚠ 危険

当社が指定したものを使用する。 ●指定品以外のものを使用した場合は、電池を漏液、発熱、破裂させる原因になります。	(!)
端子どうしを金属などで接続させない。 ●電池を漏液、発熱、破裂させる原因になります。ネックレスやヘアーピン等の金属製品と一緒に持ち運んだり保管しないで下さい。	⊘
火のそばに置いたり、火の中に投入しない。 ●電池を漏液、発熱、破裂させる原因になります。火気・ストーブのそばなどの高温の場所での使用・放置しないで下さい。	⊘

⚠ 警告

航空機内や病院などで使用を禁止された区域では電源を切る。 ●電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合がありますので、電源を切って下さい。	(!)
アンテナ・ストラップを持って本体を振り回したり、投げない。 ●本人や他人に当たり怪我等の事故や故障及び、破損の原因になります。	⊘
自動車など乗り物を運転しながら操作を行わない。 ●安全走行を損ない事故の原因になります。本機の操作が必要の際には、必ず乗り物を安全な場所に止めてから行って下さい。 ●運転中の使用に際しては、使用地域の法律条例等をご確認いただき、それらに従ってご使用下さい。	⊘
分解や改造をしない。 ●火災、怪我、故障の原因になります。	⊘
小さいお子様の手の届かない所に保管する。 ●怪我等の原因になります。また、本製品のパーツ等をお子様が飲み込んだりすると大変危険です。	(!)

⚠ 注意

極端な高温・低温の場所に放置しない。 ●電池の漏液、発熱、性能・寿命を劣化させる原因になったり、ケースの変形、損傷や故障などの原因になります。 ●直射日光の強い所や炎天下の車の中、熱器具のそばに放置しないで下さい。	⊘
振動、ほこり、湿気の多い場所に置かない。 ●故障などの原因になります。	⊘
水のかかる場所への放置・水没させない。 ●本製品は完全防水仕様ではありませんので、内部に水が入ると故障の原因になります。また、電池を発熱させたり、サビの原因にもなりますので、使用場所、取扱いにご注意下さい。	⊘
端子はいつもきれいにする。 ●端子が汚れていると接触不良、通話切れなどの原因になります。汚れた時は、端子を乾いた布、綿棒などで拭いて下さい。各端子には直接手を触れないで下さい。	(!)
磁気カード等を本体に近づけない。 ●フロッピーディスクやキャッシュカード等の内容が消去される場合がありますので、近づけたりしないで下さい。	⊘
アンテナを折り曲げたりしない。 ●アンテナの変形や破損の原因になります。	⊘

その他の注意

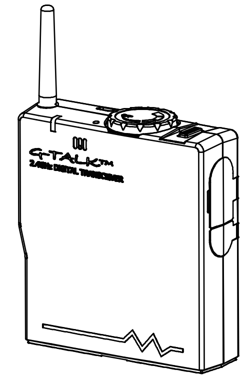
製品廃棄時の注意 ●本製品を廃棄する時は、お住まいの地区自治体の指定にしたがって下さい。	⊘

3. 免責事項

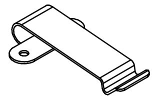
本書の一部または全部を弊社に無断で引用および転載することは禁止されております。
本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、製造元、もしくは販売店の方までご連絡下さいます様お願いいたします。
本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
本書に記載されている製品名、機種名、その他特定製品の型番などについては、本書作成時点（2011年2月現在）で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については製造元、もしくは販売店の方までお問い合わせ下さい。
本製品の仕様、デザインおよび取扱説明書の内容については、製品改良などの為に予告なく変更する場合があります。
本製品を運用した環境で他社製品の故障、誤動作、その他どの様な理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。
弊社は本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係など）へのご使用等については考慮されておりません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生した場合でも、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
本製品は、日本国内の電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線モジュールを使用しており、日本国内仕様となっております。本製品を日本国外で使用する場合は使用する国の電波法に従ってご利用下さい。日本国外での使用に際し、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートは行っておりません。
This product is for domestic use only. We provide support only for the Japanese.No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

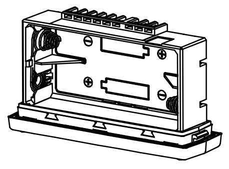
4. ご使用する前に

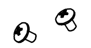
G-TALKは簡単なグループ登録を行うことで、基地局なしで最大5人まで同時に通話が行えるトランシーバーです。
本セットには下記に示す本体1台及び、付属品、並びに取扱説明書（本書）がセットされています。ご使用の前にお確かめ下さい。

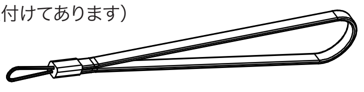

G-TALK本体 … 1台

取扱説明書（本書） … 1部


専用ベルトクリップ … 1個


乾電池ボックス … 1個
（お買い上げ時はG-TALK本体に取付けてあります）


ベルトクリップ取付け用ネジ … 2個

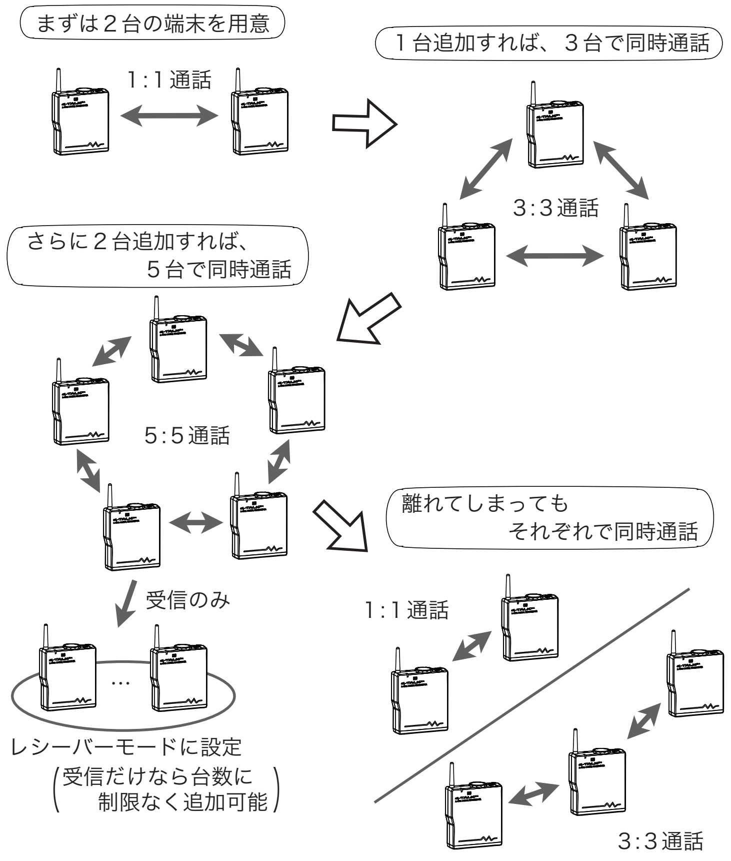

脱落防止ストラップ … 1個

※単四形アルカリ乾電池（2本）は付属しておりませんので、別途お買い求め下さい。

5. 本機の特長

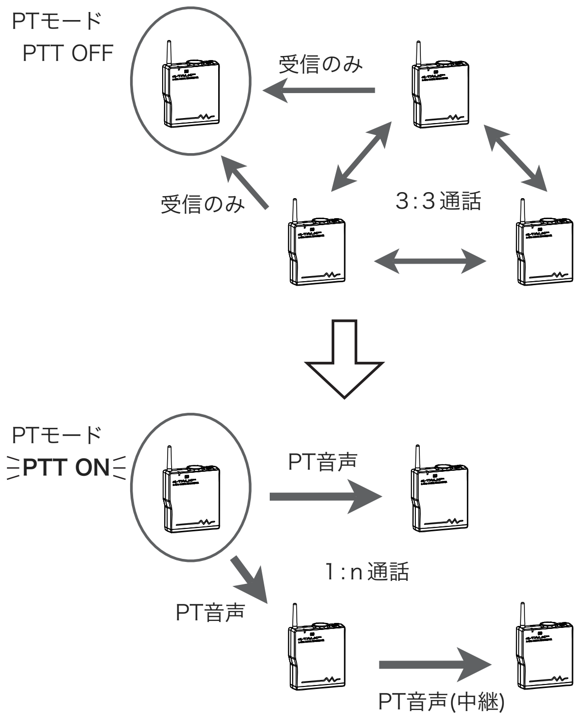
基地局がないから組み合わせが自由自在

新開発技術により基地局がなくても複数同時通話が実現できます。基地局の制約がないので、全く同じ端末を複数台用意するだけでいろいろな組み合わせを自由自在にアレンジすることができます。

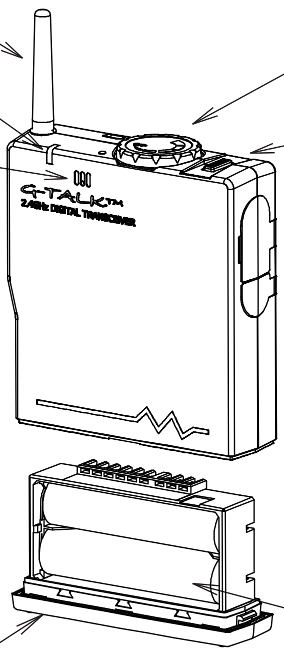


プレストークによる一斉同報中継機能

G-TALKは複数同時通話だけでなく、従来のプレストークと同様の通話方法も同時に提供します。プレストークモード（PTモード）にすると、G-TALK対応ヘッドセットに搭載される PTTスイッチ を押している間だけ通話が可能となりますので、通話相手に必要な会話だけを伝えることができます。また、プレストークによる通話音声は、他者が同時通話中でもその通話音声に割り込んで通知することができ、さらに直接通話できない離れた場所にいる端末に対しても途中の端末を中継して伝えられます。
（ PTTスイッチ は同時通話中でもプレストーク時と同様に使用できます）



6. 各部の名称



高感度アンテナ

状態表示ランプ

電子ブザー

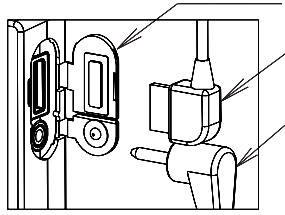
電源スイッチ／音量ボリウム

受信音声の音量が調整でき、ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
また、反時計方向に回すと音量が小さくなり、最小位置では電源OFFとなります。

⚠ 注意　耳を痛めない様、適度な音量でご使用下さい。

通話モードボタン

通話モードを切り替える場合に使用します。
ボタンを押すごとに『プレストークモード』と『同時通話モード』が切り替わります。
また、このボタンを押しながら電源ONすることで『グループ登録モード』になります。



ヘッドセット接続端子

G-TALK対応ヘッドセットを
接続します。

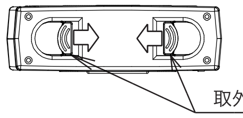
ライン入力端子

外部音声ライン入力端子です。
G-TALKによる通話と同時に外部機器からの音声を聞きたい時に使用します。
この端子から入力した音声は使用している本人だけが聞くことができ、通話相手には聞こえません。

⊘ スピーカー出力などの過大な信号を入力すると、故障の原因となります。
接続する機器の取扱い説明書などをご確認いただき、適正なレベルでご使用下さい。（入力最大レベル：2Vp-p）

乾電池ボックス

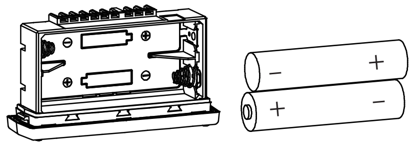
乾電池ボックス装着時は、図の向きに合わせて下から上に挿入し、乾電池ボックス下面にある取外しレバーが確実にロックするまで押し込みます。
また、取外しの際は取外しレバーを下図の矢印の方向につまんでロックを解除し、乾電池ボックスの縁を持ってゆっくりと下方へ取り外して下さい。

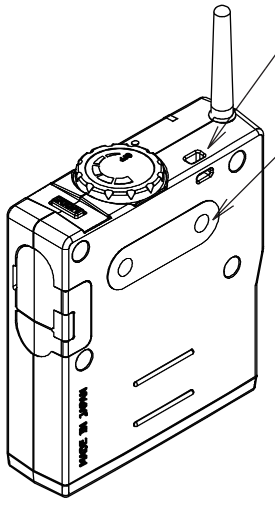


バッテリー（単４形乾電池×２本使用）

電池は必ず、図の向きで装着して下さい。
アルカリ単４形乾電池、又は同サイズの充電池が使用できます。

⚠ 注意　誤った方向で使用すると、故障の原因となります。
また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないで下さい。



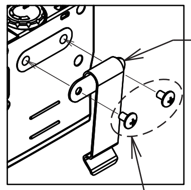


ストラップ取付け穴

必要に応じて付属の脱落防止ストラップを
取り付けることができます。

ベルトクリップ取付け用ネジ穴

必要に応じて付属のベルトクリップを
取付けることができます。

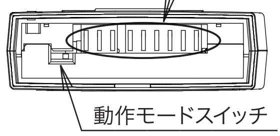


⊘
本体を破損する恐れがありますので、付属のネジ以外は使用しないで下さい。

バッテリー接点

本機と乾電池ボックスとの接続端子です。

⊘ 静電気等により故障することがありますので、
直接指などで触れない様にして下さい。

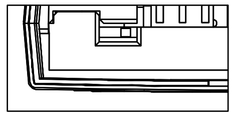


（乾電池ボックスを外して下から見たところ）

動作モードスイッチ

本機を受信専用のレシーバーモードに切り替えます。
通常の同時通話にてご使用の際はトランシーバーモードにしてお使い下さい。
モードを切り替えた際には再度、グループ登録を行う必要があります。

（レシーバーモード ⇔ トランシーバーモード）



■主要諸元

通信方式	独自フレーム構成による単信バースト
標準規格	ARIB-STD-T66準拠（※）
変調方式	スペクトラム拡散変調
発振方式	ＰＬＬシンセサイザ方式
周波数範囲	2405～2480MHz
チャンネル間隔	5MHz（全１６チャンネル）
定格出力電力	10mW/MHz
通話距離	約100m（屋外での見通し距離）
連続使用時間	約10時間（アルカリ単四形乾電池２本使用時）
外形寸法	約59×65×18mm（突起物含まず）
本体重量	約70g（乾電池含む）
動作温度範囲	-10℃ ～ +50℃（結露無きこと）
防水性能	JIS防水４級（防まつ型） （端子カバーを閉めた状態において）

※本機は日本国内の電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線モジュールを内部に使用しております。
（工事認証番号：001WWCB1122）

7. 操作方法

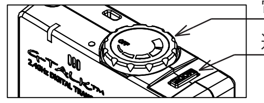
通話グループの登録

本機では混信や盗聴を防ぐ為、あらかじめグループ登録を行った端末同士でしか通話ができない仕組みになっております。グループ通話を行う際には以下の手順に従い、通話グループの登録を行って下さい。
グループ登録を行った情報は内部メモリに記憶されますので、次回電源ON時からは再度グループ登録を行う必要はありません。

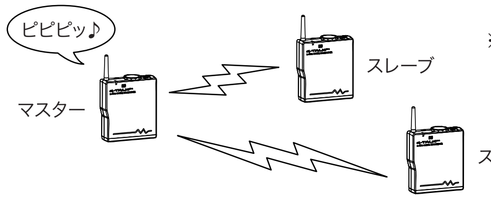
❗ お買い上げ時など、まだグループ登録がされていない状態では、電源ON時に未登録エラーとなります。

グループ登録の手順

グループとして登録したい端末の 通話モードボタン を押しなが電源スイッチをONにします。



この時、最初に起動した端末がマスターとなり、その後から起動した端末は全てスレーブとなります。マスターでは、スレーブの台数に応じて本体より『ピッピッ…』とブザー音が鳴り、現在の登録台数をお知らせします。
レシーバーモードの端末を登録する場合もスレーブと同様の操作にて登録できますが、レシーバーの登録台数には制限がありませんので、マスター側での登録台数のカウントは変化しません。



※グループ登録完了後は
マスターとスレーブの
関係はなくなります。

グループ登録を行いたい端末が全て揃った時点で、マスターの 通話モードボタン を約１秒以上長押しすると、『ピー』と登録音が鳴り、全ての端末が再起動して登録が完了します。

⊘ この時、グループ登録の情報を内部メモリに書き込みますので、登録完了までは絶対に電源を切らないで下さい。

8. その他の機能

○プレストークモードへの切り替え（レシーバーモードでは使えません）

『プレストークモード』へは、同時通話中に 通話モードボタン を押すことで切り替えできます。『同時通話モード』に戻るときは再度 通話モードボタン を押して下さい。（起動直後は『同時通話モード』になっております）
また、現在の通話モードは状態表示ランプの点滅とヘッドセットからの通知音により判別できます。

通話モード	状態表示ランプ	通知音
同時通話	１回点滅	ピッ
プレストーク	2回点滅	ピピッ

○チャンネルサーチ（レシーバーモードからは使えません）

通話中の誰か一人が 通話モードボタン を約１秒以上長押しすることにより、通話中のチャンネルを一時的に変更することができます。
通話チャンネルを変更することで、別のグループや他の通信機器からの電波干渉により通話が正常に行えない様な状況であっても、干渉の影響を軽減できる場合があります。

他の通信機器の一例
　Bluetooth機器、無線LAN機器、電子レンジ、携帯ゲーム機器など

チャンネルサーチによる通話チャンネルの変更は、グループ全員が電源をOFFにするまで有効です。

○バッテリー残量の表示

通話中の状態表示ランプの点灯間隔により、3段階でバッテリーの残量が確認できます。（トランシーバーモード：青／レシーバーモード：紫）

電池残量 多：約2秒間隔
中：約1秒間隔
少：約0.5秒間隔
（ヘッドセットより一定間隔で『ピッ』音が鳴ります）

さらにバッテリーが少なくなり、残量が残り僅かになると通信不可能となり、赤／青交互点滅により通知します。

9. 保証規定

1. 取扱説明書、本製品貼付けラベルなどの注意書きに基づき正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させて頂きます。修理の際には、製品とともに本書をご購入の販売店までご提示下さい。尚、弊社指定以外の部品を用いた改造による故障及び損傷につきましては、保証対象外となります。
2. 次の場合には保証期間内でも有料となります。
（1）本書のご提示がない場合。
（2）本書にお買上げの年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、又は字句を書き換えられた場合。
（3）使用上の誤りによる故障および損傷。
（4）故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
（5）お買上げ後の落下、水の浸水及び圧迫などによる故障及び損傷又は落下、水没、水濡れなどの痕跡がある場合。
（6）火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変及び公害、塩害など不慮の事故による故障及び損傷。
（7）過酷な条件のもとで使用されて生じた故障及び損傷。
（著しくゴミ、ホコリなどが付着している場合も同様とします）
（8）消耗部品の交換。
3. 本製品が不当に修理や分解／改造された場合や本体貼付けラベルを改変及び取り外した製品は修理（有料修理を含む）をお引受けできない場合があります。
4. 本製品内部に水分の付着などによる腐食が認められた場合や破損が著しい場合は修理不能（有料修理を含む）となる場合があります。
5. 本製品を指定外の機器と接続した場合、万一発生する事故については責任を負いかねます。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
7. 修理による交換した交換元部品の所有権は、有料修理、無料修理を問わず、製造元メーカーに帰属します。
8. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
9. 修理内容につきましては別途書面によりご説明いたします。

※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理については当社、又はご購入いただいた販売店の故障受付窓口までお問い合わせ下さい。

※保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。尚、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は生産打ち切り後6年です。

製品保証書

1. 本保証書は、別記記載の保証規定に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。
2. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管して下さい。
3. 保証対象部分は本体です。

お客様へのお願い

お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号を分かりやすくご記入下さい。
保証書にご記入いただいたお客さまのお名前、ご住所、電話番号などの個人情報は、無料修理の対象可否の確認及び、修理業務の管理の為に使用いたしますので、予めご了解願います。

機　種　名		K0422
製造番号※		－　　　　（12桁） （バッテリー接点側、バーコード横に表示してあります）
保証期間		本体1年間
お客さま	お名前	
	ご[illegible]	〒 TE[illegible]
お買[illegible]		[illegible]
販売店名※		

みほん

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご記入下さい。

製造元：コーナン電子株式会社
兵庫県伊丹市北河原 1-2-7